

研究課題名	診断時の末梢血・凝固検査5項目による急性前骨髄球性白血病（APL）予測モデルの開発と内部検証、およびFDP半減日数と短期転帰の関連解析
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 血液内科 氏名 野口 侑真
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日 ～ 2026年3月
研究の意義・目的	急性前骨髄球性白血病（APL）は急性骨髄性白血病（AML）の中でも特異な病型であり、診断・治療の遅延は早期死亡の主要因です。本研究では、診断時に即時測定可能な5項目（白血球数、血小板数、フィブリノゲン、FDP、LDH）を用いてAPL予測モデルを構築し、その内部検証を行います。また、副次的にATRA開始からFDP半減までの日数と短期転帰との関連を評価します。
研究の方法 (対象期間含む)	2016年1月～2025年5月に当院を初診し、初診時に白血球数、血小板数、フィブリノゲン、FDP、LDHが同一検体で測定された白血病患者（成人）を対象とし、後方視的に解析します。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	<p>①本研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しません。使用の際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。研究結果は関係学会や論文で公表しますが、その際には氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報は含みません。保存期間は5年、その後は削除します。</p> <p>②年齢、性別、白血病型、初診時の血液検査値（WBC、Plt、Fib、FDP、LDH）、転帰（30日死亡、重大出血）、FDP正常化までの日数</p> <p>③研究責任者および研究分担者</p> <p>④武蔵野赤十字病院 血液内科 野口侑真 ならびに 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎雅之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 血液内科 氏名 野口 侑真</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>